

# ネパールを通して 自分・世界を見つめよう！

実践教科：総合 道徳  
対象学年：第5学年 対象人数：23人

広島市立  
吉島小学校

望月 洋輔

●担当教科●  
全教科  
(社会 道徳)

## 実践の目的

本実践は、遊びや国歌、世界遺産など、子供が興味を持てそうなものを教材とし、日本とネパールの共通点や相違点について理解していくことを目的とする。そして、それらのことを通して、他を受容する態度や視野を広くもつことのきっかけになればと考えている。

- ①『世界がもし100人の村だったら』を使って、識字の問題や大陸の位置関係の問題を実感する。
- ②ネパール語で自分の名前を書いてみよう！日本のおみやげを考えて作る。
- ③ネパールの国技（ダンデュビ）を通して伝統のとらえ方の共通点・相違点を理解する。
- ④ネパールの音楽（国家・レッサムフィリリ）を通して伝統のとらえ方の共通点や相違点を理解する。
- ⑤ネパールの世界遺産（スワンプナナート・ボダナート・パシュバティナート）でのお参りの様子を通して、宗教のとらえ方を知る。
- ⑥ネパールのゴミ・下水処理・交通の実態を通してゴミ問題・水問題・交通問題を知り、どのような支援ができるかを考える。
- ⑦ネパールの子ども（教室で勉強する子・学校で習字を書き写す子）やホームステイで出会った子どもの夢を知り、自分たちとの共通点・相違点を捉え、今後の生き方について考える。
- ⑧ネパールでのJICAの取り組み（学校保健衛生プログラム）を通して支援の様子・日本とのつながりを理解する。
- ⑨ネパールのホストファミリーとのやりとりを通して日本とネパールが身近に通じることを感じる。
- (⑩ネパール料理を作ろう)

## 授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1	(事前学習1) 字が読めないって、 どういうこと？ア ジアの人口密度つ て？	・水を3種類（塩水＝毒 水道水＝ふつうの 水 砂糖水＝薬）を用意し、役割演技を行う ・役割カードで自分の役割を認識し、同じ地 区同士で集まる。世界の大半が発展途上國 に住んでいることを知る	・『世界がもし100人の 村だったら』
2	(事前学習2) ネパールの子ども におみやげを作ろ う	・ネパールにおみやげを持って行く話をし、 クラスみんなで話し合う ・日本っぽいものを用意する＝習字 ・ネパール語で自分の名前とあいさつの入っ たメッセージカードを作る	・ネパール語の五十音 表
3	ネパールの遊びつ てどんな遊び？	・日本の国技（相撲）について知っているこ とを出し合う ・木の棒を見て、どのような遊びかを考える	・相撲の写真 ・ダンデュビで使う棒 ・ダンデュビを実際に やっている映像

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに、日本の国技とネパールの国技の共通点・相違点を見つける</li> <li>・女性の問題について、日本とネパールの現状を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の男女雇用規定とネパールのNGOの活動を紹介</li> </ul>
4	<p><b>ネパールの音楽を体感しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッサムフィリリの曲を歌ってみよう →日本語で意味を確認 楽器も紹介</li> <li>・ネパールの国歌を聞いてみよう→意味を確認</li> <li>・なぜ、国歌を変えることが必要だったのかを考えよう →歴史について簡単に理解する</li> <li>・「君が代」との使われ方の共通点・相違点に気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッサムフィリリのCD</li> <li>・マドル</li> <li>・ネパール国歌の音源</li> <li>・ネパール国歌の日本語訳</li> <li>・ネパールの学校は朝の会で国歌を歌っている映像</li> </ul>
5	<p><b>ネパールの世界遺産から考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家が何教であるかを知る</li> <li>・スワヤンブナートとボダナートのお参りの様子を知る（チベット仏教）</li> <li>・パシュバティナートのお参りの様子を知る（ヒンズー教）</li> <li>・日本のお参りの様子と比較を行い、共通点・相違点を見つける</li> <li>・今まで学習してきたことを通して、日本とネパールになぜいろいろな共通点や相違点があるか自分の意見をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛の後ろを歩く女性の写真</li> <li>・各世界遺産でお参りを行っている映像</li> <li>・日本の初詣での写真</li> </ul>
6★	<p><b>ネパールの社会問題から考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォトランゲージ →警察官がどうしてマスクをしているのかを考える。 →民家の家の周りの様子を考える。 →川の流れの様子について気付くことをまとめる</li> <li>自分の考えをグループで意見交流</li> <li>・日本との共通点・相違点について自分でまとめる</li> <li>・もし、自分がネパールに支援をおこなうとしたら、どんな支援を行うかを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カトマンズ市内の写真 →ゴミ、水、交通、空気</li> <li>・実物のマスク</li> <li>・普段、車が通る道の様子を写したビデオ</li> </ul>
7★	<p><b>ネパールの子どもと自分たちを比べてみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネパールについて学習したことを振り返ろう →前時までに学習したネパールのことを思い出す</li> <li>・ネパールの学校での子どもの実態を知ろう →パワーポイントやワークシートの写真から、学校での授業中や儀式中の様子を読み取り、自分たちと比較する グループでどのようなことに気が付いたかを共有する</li> <li>・ネパールの一人一人の様子を知ろう →表に一人一人の学校へ行く理由や夢をまとめる →第一時で行った内容を想起し、関連付ける</li> <li>・金子みすゞの『わたしと小鳥とすずと』を読み、今日の学習で感じたことを書く →共通点と相違点をまとめ、今後の生き方について自分を振り返る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問した学校の様子の写真</li> <li>・ホームステイで出会った子たちの写真</li> <li>・ワークシート</li> <li>・パワーポイント</li> </ul>

8	日本の関わり方について理解しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネパールから持ち帰った「学校保健衛生プログラム」のカレンダーなどを見せ、どのようなものかを考える</li> <li>・その現場で働くH隊員の生き方について考える</li> <li>・JICAのことを紹介し、国際協力の現場に関心をもつようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダーなど、現地からいただいたもの</li> <li>・H隊員の写真</li> <li>・パワーポイント</li> </ul>
9	ネパールの子どもに手紙を書いてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習から日本とのつながりを思い出す</li> <li>・メッセージカードや習字、折り鶴を届けた写真を見せ、ネパールと日本が決して遠くないことを実感する</li> <li>・ネパールにあった、日本のものの写真を紹介する</li> <li>・第七時で学習した8人に向けて、手紙をかく →英語のアシスタントの先生の力を借りて、英語で書いてみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミカサのボールの写真</li> <li>・スズキのステッカーを貼った車の写真</li> <li>・パナソニックの写真</li> <li>・メッセージなどを渡している写真</li> </ul>
10	ネパール料理を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーを招き、ネパールの伝統的な料理ダルバードを作る</li> </ul>	

## この授業に注目！

### ⑥限目 ネパールの社会問題から考えよう

本時は、平成23年12月20日（火）6校時に総合的な学習の時間を利用して授業を行った。対象学年は第5学年2組（男子15名 女子9名 計24名）であった。

本時のテーマは、「ネパールの社会問題から考えよう」と設定をした。しかし、児童には、「社会問題」という言葉を示しても理解ができない子がいる可能性があるので、「生活の仕方について考えよう」と言葉を簡略化し提示した。

私自身、ネパールへ到着してからは驚きの連続であった。特に、クラックションをよくならす車、ゴミが散らかっている道路、黒いマスクをして交通整備にあたる警察官、野犬が寝ている道路、生活排水などがそのまま流されてしまっている川などである。このことを教材として使えないと想い、実践に取り組んだのが、第6時である。また、第5時までは、ネパールと日本の共通点と相違点をまとめた学習を主として行ってきたが、第8時のテーマである「日本の関わり方について理解しよう」につなげるために、ネパールの現状知った自分たちに、「もしネパールに行くとしたらあなたは何をしますか？」という課題を与え、ワークシートに記入させ、授業を終えた。

学習展開については、資料の指導略案を参考にしていただきたい。

（6限目）

時限	学習活動	支援・方法	使用教材
導入5分	1 写真を見て、それぞれの問い合わせに予想をたてる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに写真を載せる</li> <li>・テレビ画面にワークシートと同様の写真を提示する</li> </ul>	ワークシート

展開前半 15分	2 ワークシートに書いた予想をグループで発表する	・人の考えを聞き、自分が気づかなかったことやなるほどと思った考えをワークシートにメモするように指示を出す	現地で撮影してきたビデオ排水を流す写真ワークシートと同様の写真
	3 実際の道路の様子を見る	・現地で撮影してきたビデオを視聴することによって、問い合わせを確認していくようになる ・現地で撮影してきた別の写真も提示しながら、問い合わせを確認していくようになる ・ビデオや写真を見ながら、気づいたことがあればワークシートにメモするように指示を出す	
	4 ネパールと日本の共通点や相違点をまとめる	・グループで話し合ったことやビデオや写真を見て、日本との共通点や相違点を枠にまとめるように指示を出す ・クラス全体で発表し、確認する	
結末5分	5 「もし、ネパールに行くとしたら、どのような手助けしますか？」の問い合わせに答える	・最後に、ワークシートに自分の考えをまとめるように指示を出す ・手が止まっている児童には、個別に声かけを行う ・この活動は、第8時の「日本の関わり方について理解しよう」の箇所につなげるために行う	ワークシート

### 児童の反応

- ・ゴミ拾いをする。なぜなら、一度きれいにすれば、汚くなってほしくないという思いを多く持ってくれると思うからです。きれいになるとネパールの人たちも喜んでくれると思うから。
- ・きれいな水を持って行く。
- ・日本の様子を映像で見せる。
- ・野犬の保護を行う。
- ・電気を送るために、電池や電球を持って行く。
- ・ガードレール、横断歩道を増やして、安全になるようにする。

### 所感

最後の問い合わせに対して、児童の反応のほとんどがゴミ問題に関心を示し、「ゴミ拾いを行う」と答えた児童が圧倒的に多かった。これは、4年生の時に広島市のゴミの実態を学習したことが生かされているからだと思われる。

ただ、最後の課題について、児童にとって難しかったと思う。「もし、今ネパールに行くとしたら」という課題は、あまりにも唐突すぎて児童の思考が止まってしまった。「日本は、どのような関わり方ができるか」という課題の方が、第8時につなげやすかったのではないか。第8時では、実際に日本が行っている活動（主にJICAやNGO）を紹介するので、児童が考えたものと比較しやすかったように思う。

## 資料

### 6限目ワークシート

# ネパールを通して、世界・自分を見つめよう！！

名前（ ）

今日のテーマは空気・ゴミ・水！身の回りの生活の仕方について考えよう。

Q1 なぜ、警察官はマスクをしているのでしょうか？



予想


Q2 この家のまわりはどんな様子になっているでしょうか？



予想


Q3 水の様子について気付くことを書こう。



気付くこと


日本との共通点・違いをまとめよう


考えてほしいこと！

このような国で生活をしているネパールの人たちに、あなたがもしネパールに行けるとしたら、どんな手助けをしてあげますか？自分なりに考えて書きましょう。


## 7限目 ネパールの子どもと自分たちを比べてみよう

本時は、平成23年12月21日（水）1校時に総合的な学習の時間と道徳を組み合わせた形で授業を行った。対象学年は、第5学年2組（男子15名 女子9名 計24名）であった。

本時のテーマは、「ネパールの子どもと自分たち」であり、本時の目標は、「ネパールの子どもと日本の子どもを比べ、学校での様子や将来に向かってしっかりと夢をもつ姿を理解し、今後の自分の生き方について、考えるきっかけを持つことができる。」と設定した。ネパールの子どもと自分たちの学校生活の様子や夢などを比較し、考えさせることによって、他を受容する態度や今後の生き方について考えることを授業の柱とした。

本時の学習展開については、資料の指導略案を参照していただきたい。

（7限目）

時限	学習活動	支援・方法	使用教材
導入5分	1 ネパールについて学習したこと振り返ろう。	・児童は、ネパールについて今までに、ダンデュビ、レッサムフィリリ、スワヤンブナートなどを学習してきている。その中で、こちらが誘導した部分も多くあるが、ネパールと日本の共通点と違いという視点で見るように伝えてある。今までの学習を想起することからはじめたい。	・パワーポイント
展開前半15分	2 ネパールの学校での子どもの実態を知ろう。	・訪問した学校の教室での風景や学習の様子を写真で見ることによって、自分たちとの様子の共通点や違いに気づく。 ・また、歓迎会（式）での様子も写真で見ることによって、その様子をとらえる。 ・気付いたことを書き、発表で交流することで、自分が気付かなかったことに気づくようにする。（グループでの話し合い） ・学校での様子を知った後、年の近い子たちの実態を知る。インタビューしてきた8人を取り上げる。 インタビュー項目は Q1 なぜ学校に行くのか？ Q2 夢は何ですか？ Q3 趣味は？ 児童にも考えやすい質問を提示することで、興味・関心を持つようにする。	・訪問した学校の様子を表した写真 ・一人一人の写真 ・パワーポイント ・ワークシート
後半20分	3 ネパールの一人一人の様子を知ろう。		
結末5分	4 金子みすゞの『わたしと小鳥とすずと』を読み、今日の学習で感じたことを書く。	・しっかり時間を設け、ネパールの子どもと自分たちとを比較しながら、書く。 ・今後の生き方についても書くことを助言する。	ワークシート

### 児童の反応

- ・ネパールの子どもも夢を持っていることを知ったので、夢を持ち、その夢をかなえたいし、ネパールの人たちにも叶えてほしい。

- ・11歳で学校の寮に入ることや学校に行く理由が同じことに驚きました。
- ・学校に行けることに改めて感謝し、両親を大切にしていこうと思いました。
- ・夢を叶えるために勉強など日々の生活を一生懸命頑張ろうと思う。
- ・自分のことばかりを考えるのではなく、周りの人のことも考えながら生きていきたい。
- ・いろいろな考え方あり、「みんなちがってみんないい」と改めて思いました。
- ・みんなに優しく、人を傷つけないように生活して生きたい。
- ・友達や家族のことを考えながら生活して生きたい。

### 所 感

ネパールの学校の様子や自分たちと同い年ぐらいの子たちを教材として取り上げることによって、児童も関心をもって学習に取り組んだ。自分のことと比較することによって児童の反応も様々に分かれており、本時の目標はほぼ達成できた。また、他を受容する態度についても、少しは育むことができたと児童の反応から判断することができると思う。今後の生き方について、少しでも本時の授業が生かしてもらえればと思う。

# ネパールを通して、世界・自分を見つめよう！！

名前（ ）

## 授業中の様子



ラトナ・ラジャ中等学校



## 歓迎式での様子

シャンジャの小学校



シャンジャのラクシュミ中等学校



自分たちの授業や朝会などの態度と比べてみて、共通点や違いを書いてみよう。

○日本と同じように一列に字をうつしている。
△教室の中にはたくさんの子供たちがいる。(せきえ)
△そろそろ勉強中のみんなによく見ている。
△観迎式などのために立派な制服を着ている。(これい)

△昔の意見  
△ーーーの長机を使っている。

自分たちの授業や朝会などの態度と比べてみて、共通点や違いを書いてみよう。

まちに意見  
友達の意見

- みんな同じように勉強をしている。  
△教室が少し古そうで、せまい。△みんな  
顔が少しちがう。  
△歓迎式を外でや  
ている。  
○日本と同じようにノートに漢字をかしている。  
○授業の時、前に出て黒板について、発表している。

さて、あなたは「学校に行く理由」や「自分の夢」について考えたことがありますか。

後半戦はネパールで望月が出会った子どもたちを紹介します。

次の質問にあなたなら何と答えますか。□の中に書いてみましょう。

Q 1 どうして学校に行くの？ →

勉強して頭をよくするため。 勉強するため。

たくせん友達をつけてたくさん勉強(ため)

Q 2 あなたの夢は何ですか？ →

料理(ハニ屋など)をやってみたい 料理人

(決まってない)  
びみょうだけと、プロ野球選手

Q 3 あなたの好きな趣味は何ですか？ →

里子 球

テニス、野球

ドッジボール

同じ質問をホームステイで出会ったネパールの子どもたちにしてみました。

■クシさん（11歳）



■ビベック君（12歳）真ん中



■ソーホン君（11歳）



■ニサさん（13歳）



■マニサさん（10歳）



■シバ君（11歳）一番右



■カーマイ君（8歳）



■シカさん（13歳）



\*先生の話を聞いて、書き取ろう。

	どうして学校に行くの？	夢	スポーツ
クシ	読んだり書いたりでできるようになるため	ハピコット	バトミントン
ビベック	読んだり書いたりでできるようになるため。	兵隊	サッカー
ソーホン	読んだり書いたりでできるようになるため。	まだ決まってない	サッカー
ニサ	読んだり書いたりでできるようになるため。	先生	カバティ
マニサ	読んだり書いたりでできるようになるため。	先生	スピーチキング
シバ	読んだり書いたりでできるようになるため。	ハピコット	水泳
カーマイ	読んだり書いたりでできるようになるため。	医者	水泳
シカ	読んだり書いたりでできるようになるため。	看護士	水泳

ネパールの子どもと自分たちを比べてみて、どんなところが似ていて、どんな違いがありましたか？気付いたことを書いてみよう。また、今後どのようにしていこうと思いますか？

みんなネパールの子供はどうして学校に行くのかという質問に「読み書きができるため」と答えていたのでびっくりしました。ネパールの人でも字を読めたりできないのは日本とはちがうなと思いました。日本と似ている所は、みんなにもそれを「れ夢があることだ」と思いました。  
(たくさん)

自分たちと比べてみてネパールの子供たちは全部、学校に行く理由が同じで、いくつくりしたけれど先生が言っていたのを聞いて理由が分かりました。夢、スポーツはみんな同じでちがっていません。最後に先生が見せてくれた「トト鳥」と「ホウズ」の「みんなちがってみんないい」という所でやはりみんなちがう所にあるかもみんないいと思いました。

(1)自分たちも夢がまだ決まってないという人など

もいる。

(2)自分たちもネパールのみなさんといっしょでいろいろな夢がある。

(3)ネパールの人たちは読み書きができるようになるため学校に行っている

今後ネパールの人たちが読み書きができるようにおうえんしながら生活をしていきたいです。

## 全体を通しての成果と課題

児童は、ネパールと日本の共通点・相違点についてよく考え、興味・関心をもって学習に取り組んでくれた。

これは、教材として、遊びや世界遺産、同世代のネパールの子どもなど、児童が興味・関心を持ちやすい物を扱えたからだと思う。また、単元全体を通して、共通点と相違点にこだわって授業を開展してきたことによって、児童には、「日本だけではない世界をどのように考えるか」という、物の見方を少しではあるが、身に付けさせることができたのではと考えている。

特に、事前学習1で行った、「毒と薬」が第7時のネパールの子どもが学校へ行く理由とつながったことなどはその成果であると思う。また、第6時の学習「生活の仕方を考えよう」を第8時の学習「日本の関わり方」につなげるよう設定できたことは、社会を認識していく上で有効な手段であったと思う。

小学校5年生にとって、少し難しい教材を選んだことや授業の展開の仕方が悪かったことについて、私自身の反省である。もっとかみ碎いた表現の仕方、子どもが食いつくような授業の展開の仕方を勉強していかなければと改めて感じさせられた。今後も、今回の授業をもとに改善を重ねていき、よりよいもの作っていきたい。

児童も私も、いろいろなことを考え、いろいろなことを体験させていただいた。私自身、今回、外国へ行くことが初めての経験であった。そして、その経験をもとに授業をできたことは、私の今後の人生に大きな意味をもつことになると思う。私は、今回の経験を通して、教師自身が児童と一緒に学んでいく姿勢が改めて大切であると感じた。今後も、子どもたちと一緒に学んでいく姿勢を大切にし、今回の授業の目的にも挙げたように、他を受容し、視野を広く持つ生き方を児童と共にやっていきたと思う。

### 参考資料

#### 【書籍】

- 文部科学省（2008）『小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』東洋館出版社
- 文部科学省（2008）『小学校学習指導要領解説 道徳編』東洋館出版社
- 地球の歩き方編集室（2007）『地球の歩き方ネパール2009～2010』ダイアモンド・ビッグ社
- ㈱日本ネパール協会（2006）『ネパールを知るための60章』明石書店

#### 【インターネット】

- 開発教育 <http://www.mofaj.go.jp/mofaj/gaiko/oda/edu/kyouzai/handbook/index.html>
- 開発教育協会 <http://www.dear.or.jp/index.html>
- 開発教育を考える会 地球の仲間たち  
<http://members2.jcom.home.ne.jp/chikyugroup/nakama/index.html>